

授業科目名	図画工作科教育法Ⅱ	教員名	守川 美輪	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授業形態	演習	担当形態	単独		保育士	
					こども音楽療育士	
科目番号	SID313	配当年次	3年前期	卒業要件	小幼コース	選択必修
単位数	2単位				幼保コース	選択
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）（小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法					
科目						
系列						
一般目標	<p>色や形イメージに関する事項について意識的に取り上げることで、造形表現能力を一層高める。図画工作科で扱う道具及び技術についての教材研究をし、模擬ミニ授業という形で発表する。簡単な学習指導案を作成し、必要に応じて見本や教具を作成する。版画については、各自教材研究したい題材を選び、学習指導案を作成するとともに、作品を製作し、その後作品の鑑賞会を行う。</p> <p>(1)図画工作科の目標及び内容 学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2)図画工作科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到達目標	<p>(1)図画工作科の目標及び内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習指導要領における図画工作科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 図画工作科の学習評価の考え方を理解している。 図画工作科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 <p>(2)図画工作科の指導方法と授業設計</p> <ol style="list-style-type: none"> 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 図画工作科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 					
授業の概要	<p>色や形を生かした表現の指導法及びイメージをどう表現するか等について、学生が実際に体験した後考察する。また、図画工作科で扱う材料・道具について児童対象にどう指導するか学生が分担して調べ、模擬ミニ授業を行う。版画については技能を習得するとともに、学習指導案を作成し発表する。これらの模擬ミニ授業や版画の学習指導案作成を通して、児童が感性を働かせながら意欲的に表現・鑑賞するための指導方法について考察する。授業形態は演習とする。</p> <p>アクティブラーニングとして、各学生が自分の思いを持って作品に表現する。また、図画工作科教科書を参考にし、指導したい内容を決め、試作品をつくった上で、図画工作科学習指導案を作成する。さらに、一部の学生が導入部分の模擬授業を行い、良かった点、改善すべき点を話し合う。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	<p>第1回：抽象的表現</p> <p>音絵を描くことで、色や形によるイメージの表現が可能なことを理解する。それぞれが表現を追求する態度を持つ。ミニ授業の例を示す。</p>					

	<p>第2回：配色と構成 模様を描くことでデザインの要素を学ぶ。模擬ミニ授業のグループ分けをする。</p> <p>第3回：写実的表現 実物を見て描く。色の細かな変化を表現する。そっくりに描いた後輪郭線で切り取り、実物の中に紛らせて写真撮影をする。カモフラージュがどの位できるかやってみる。模擬ミニ授業の内容を決定する。</p> <p>第4回：色彩感情 木切れに絵の具で彩色し、細部を描いて建物に見立て、並べて街をつくる。壁の色や屋根の色、質感の表現によって様々な印象を与える建物が表現できることを実感する。模擬ミニ授業の役割分担をする。</p> <p>第5回：図画工作科教材研究 模擬ミニ授業の教材研究をする。図画工作科教科書を参考にして、題材を決め、作品例や掲示物を作成する。</p> <p>第6回：学生発表 カッターナイフ・針金とペンチ・鋸・金槌と釘を扱う模擬ミニ授業を行う。(20分×4)</p> <p>第7回：学生発表 クレヨンやパス・水彩絵の具・墨・色画用紙を扱う模擬ミニ授業を行う。(20分×4)</p> <p>第8回：学生発表 箱・木の枝・型押し・スポンジを使った造形遊びの模擬ミニ授業を行う。(20分×4)</p> <p>第9回：版画の技法 版画の技法と手順を知る。実際に板を彫ることで、彫刻刀の使い方を学ぶ。自分が取り組みたい版画の教材研究をする。</p> <p>第10回：版画製作① アイディアスケッチの後下絵を描き、色分解した上で転写する。</p> <p>第11回：版画製作② 版を彫る。(紙版の場合は紙を貼る、くり抜くなどして版をつくる)</p> <p>第12回：版画製作③ 試し刷りをし、版の修正をする。</p> <p>第13回：版画製作④ 本刷りをし、完成させる。</p> <p>第14回：版画作品の鑑賞及び図画工作科学習指導案作成 作者は工夫点の発表をし、鑑賞者は良い点を発表する。 版画製作の学習指導案を作成する。</p> <p>第15回：学生発表 版画製作の学習指導案の発表をする。学習指導案の工夫点の発表をし、相互評価をする。</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>期末試験50% 作品30% 模擬授業10% 指導案10%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>模擬ミニ授業の学習指導案作成にあたっては、自分が模擬ミニ授業をする学年の図画工作科教科書や指導資料、画材や道具の技法書等を図書館から借り、目を通し、参考になる部分を記録しておくなど予習をしておく。また、模擬ミニ授業発表前に十分な練習をし、自信を持って発表できるようにする。</p> <p>版画製作の学習指導案の作成にあたっては、自分が学習指導案を作成する学年の図画工作科教科</p>

	<p>書や指導資料、版画の技法書等を図書館から借り、目を通し、参考になる部分を記録しておくなど予習をしておく。また、版画製作の学習指導案に自分の工夫点が盛り込めるように工夫し、事後学習において、授業内に作成できなかった学習指導案を完成させる。学習指導案発表に向けて、自分が発表したいことを明確にしておく。</p> <p>事前にアイディアスケッチをするなどの課題を課す場合がある。その際は各自製作したいイメージをスケッチしてくること。必要に応じて、課題に関わる図書等を参考にする。</p> <p>第1回授業後に、各課題で習得した事項を記入する用紙を配布する。製作及び模擬ミニ授業および版画製作の学習指導案発表後に各自で記入し、自分の学びを確認する。用紙は第15回授業で提出すること。</p> <p>製作が予定時間内に終了しない場合は、放課後等を利用して完成させ担当教員に提出する。</p>
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	『小学校新学習指導要領解説 図画工作編』
担当者からのメッセージ	事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。
オフィスアワー	毎週火曜日 14:40～16:10